



スマホに潜む危険を家族で理解しよう！

スマホが普及し、誰もが簡単にインターネットに接続できるようになった今だからこそ、ネットいじめや誘拐事件など、子どもたちがインターネット犯罪の被害者や加害者として巻き込まれてしまう危険性や、長時間の利用による睡眠障害・視力低下など健康を害する可能性などについて、改めて家族で再確認しましょう。

参考
リンク



総務省「インターネットトラブル事例集（2018年度版）」

スマホの安全設定をしよう！

子どもをネットの危険から守るためには、様々なサービスや機能を活用することが効果的です。

なお、ここで紹介している情報は、更新される場合があります。ここで紹介していないお役立ち情報もありますので、参考リンクを定期的にご覧ください。

フィルタリングサービス

フィルタリングは、有害な情報やうっかりアクセスによるトラブルから、子どもを守るサービスです。具体的なサービス内容や設定方法は、各通信会社のホームページ、契約代理店窓口でご確認ください。

スマホ端末の機能制限

フィルタリングのほか、スマホの端末で利用時間や決済手段など、さまざまな機能を制限することができます。OS別(Android、iOS)、目的別で設定が異なりますので、参考リンクをご覧ください。

家族で話し合っ決めてよう！

アプリや利用時間などを制限するときには、家族で話し合っ決めてみましょう。家族で納得し、スマホの使い方を気軽に相談できる関係をつくるのが、子どもの安全を守るために大切です。

参考
リンク



安心ネットづくり促進協議会
「子どもとネットのトリセツ」

参考
リンク



安心ネットづくり促進協議会
「フィルタリングサービスを利用しましょう！」

大人がスマホの使い方をふりかえろう！

目の前に座っている子どもが話しかけているのに、子どもの顔を見ないで、スマホに夢中になっていることはないでしょうか。

こうした姿を繰り返し見せてしまうと、子どもは大きな影響を受け、「スマホは自分たちより大切なものらしい」と感じてしまいます。まずは、大人が使い方を見直してみましょう。

「わが家のきまり」を見直そう！

大人が使い方を振り返ったら、家族で話し合っ、「きまり」を見直しましょう。その際には、次のヒントや例を参考に、子どもの特徴、家庭の事情に合ったきまりにしましょう。

「わが家のきまり」をつくるヒント

- 1 日ごろから家族で「きまり」が守られているのかを確認し合い、守れていたら子どもをほめましょう。
- 2 守れなかった時の対応も話し合っおきましょう。
- 3 家族みんなが守れるきまりにしましょう。
- 4 子どもの成長に合わせて見直しましょう。

参考 たとえば、こんな「わが家のきまり」

- 食事中は使わない。
- 勉強のとき以外、子ども部屋にはスマホを持ち込まない。
- 充電は、リビングでする。
- メールやSNSは、保護者がわかる人とだけで行う。
- 午後__時以降は、使用しない。
- 毎日の利用は__分まで。
- アプリのダウンロードは、保護者が確認したうえで行う。
- 学校や電車内など使用が禁止されている場所では使わない。
- 「ながらスマホ」はしない。

子どもをネット上のトラブルから守るのは保護者！

子どもにインターネットを利用させる際の保護者の責務が法律で定められています（青少年インターネット環境整備法第6条）。常に気を配り、使い方が間違っていないか確認しましょう。